

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アニマート桐生あいおい			
○保護者評価実施期間	令和7年9月20日 ~ 令和7年10月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	令和7年9月20日 ~ 令和7年10月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月19日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関係機関との連携が図られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時や連絡帳にて事業所での様子を詳細にお伝えすることでご家族との情報共有を密にする。</li> <li>学校送迎時には先生方に児童の様子を伺うとともに、事業所での様子をお伝えする。</li> <li>必要に応じて、市や相談支援専門員の助言を仰ぎ、情報共有を行い支援の質の向上を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員ひとりひとりが支援の質の向上のため、スキルアップしていく。（研修への積極的な参加等）</li> <li>保護者様との良好な関係を築くために職員それぞれが『話しやすい雰囲気作り』を心掛けていく。</li> <li>日頃から学校、相談支援専門員、市の関係機関との連携を密にしていく。</li> </ul>
2	子どもたちが安心して通所してくれている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとりひとりの気持ちや状況に寄り添った支援を行う。</li> <li>毎日職員で打ち合わせを行い、その日の支援内容や気掛かりなどについて報告・確認し周知に努めている。</li> <li>活動予定表を作成、配布し見通しを持って通所できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員ひとりひとりが支援の質の向上のため、スキルアップしていく。（研修への積極的な参加等）</li> <li>全職員が打ち合わせや会議内容について周知することができるよう記録を徹底していく。</li> <li>常に児童に寄り添う支援を継続して行う。</li> </ul>
3	丁寧な説明を行うことでご家族との良好な信頼関係を築けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族からの相談について、職員一人で対処が難しい場合には持ち帰り、事業所で話し合った上でご家族に伝達することで解決に繋げている。</li> <li>職員間でも情報の共有を徹底することで情報の相違がないように努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して丁寧な説明を心掛けていく。</li> <li>ご家族についてもニーズの把握や困り感に寄り添う等、必要なサポートをしていく。</li> <li>事業所評価アンケートの結果を業務改善・支援の質の向上に繋げていく。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他のこどもと活動する機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童館は小学生のみ利用可能な施設が多く、事業所の年齢層に当てはまらないこともある。</li> <li>環境の変化に弱い児童が多く、パニックに繋がることも予測される。</li> <li>事業所から徒歩圏内に児童館や公園等がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休みや祝日などには小学生を中心に、近隣の児童館に積極的に出かけていく。</li> <li>児童の状況をよく理解し、それそれに無理のない範囲で利用を計画していく。</li> </ul>
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による保護者同士の交流の機会を通しての家族への支援、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同志の交流の機会を設けることが難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会の開催時期が不定期なため、保護者様にはわかりにくいのでは。</li> <li>すべてのご家族が参加されるわけではないため、交流には限界がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度初めに保護者会の日程を決め、保護者様に通知することで積極的な参加を促していく。</li> <li>親子やきょうだいで楽しめる内容を盛り込んでいく。</li> <li>保護者様やきょうだい同志が積極的に関わることができるような活動を盛り込む。</li> </ul>
3	第三者からの外部評価を得られていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者様も就労されている場合も多く、ご協力を仰ぐことが難しいと考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会社として第三者にご協力を仰いでいく必要がある。</li> </ul>